

萌

宮崎中学校区地域教育会議 だより

MOE

第6号

平成14年12月18日(水)

発行 宮崎中学校区地域教育会議

議長 持田 正美

編集 広報委員会

子どもの健やかな成長を願って ～あなたも地域教育会議に参加しませんか～

宮崎中学校区地域教育会議は設立から5年になりました。この間、委員たちも試行錯誤しながら活動してきましたが、“団体名は聞いたことがあるが、内容までは知らない”という声を多く耳にし、この節目にぜひ一人でも多くの方に理解していただけるように、生涯学習委員会はミニ講演会を行いました。

川崎市教育委員会・生涯学習推進課主幹の小田友一氏に4回に渡り宮崎中、西梶ヶ谷小、宮崎小、梶ヶ谷小の各学校を会場に保護者の方を中心に呼びかけをし、地域教育会議設立までの経過や目的、そして活動内容についてお話いただきました。

また、併せて宮崎中学校区地域教育会議の事務局、各委員会の活動報告、予定も聞いていただきました。各学校とも、みなさん熱心に耳を傾けてくださり、とてもうれしく思いました。

講演の後お願いしたアンケートの中のご意見やご提案は、今後の活動の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

☆ ☆ ☆

少子化、核家族化、都市化、情報の氾濫…そんな環境の中で、子どもを取り巻く深刻な問題もたくさん出てきています。私たち大人が子どもの頃よりも、子育ては難しくなっています。

地域教育会議は私たちの住む街の子ども達を健全に育むために、保護者と学校と地域を結ぶパイプ役として活動しています。みなさんが地域教育会議に何を望むか、どういう形で参加していただけるか、今後はみなさんと一緒に考えていきたいと願っています。どうかご協力をお願いします。

〈地域教育会議設立までの経緯〉

昭和59年「川崎の教育推進事業」発足

昭和61年地域教育会議創設の提言

平成2年3中学校区(田島・橘・柿生)に試行を委嘱

平成9年全51中学校区・7行政区で開始

(宮崎中学校区もこの年にスタート)

〈地域教育会議の主な目的〉

- ①地域の子育て、住民の生涯学習などについて、父母・教職員・住民の話し合いによってネットワークを作る。
- ②地域の人たちが日常的に地域の教育に参加し、行政に意見を反映させるようにする。
- ③町内会・子ども会・スポーツ団体などと連携、協力。

(川崎市教育委員会資料から抜粋)



あいさつ運動を広げ、住民同士が信頼しあえる地域に！

宮崎中学校区地域教育会議は、2ヶ月に1度定例会議を行っています。会議では各委員会の報告、各学校の報告以外にも、民生・児童委員や少年補導員など地域で子どもに関わっている構成メンバーからの情報が挙げられます。そして、その情報を元に子ども達が安全で住みやすい地域を作っていくための意見交換をしています。今年最後の定例会議では、交通事故や不審者に対する問題提起があり、対策について意見交換を行いました。

宮崎小は校区が広いことや道路事情から、子ども達の交通安全に不安を抱えています。実際に今年宮崎小では、1年生のお子さんが亡くなるという痛ましい交通事故が起きました。また、新しい住民が増え児童数も多くなっていることから、子ども同士の人間関係が複雑になってきているという報告もありました。

宮崎中からは、生徒が下校時にスカーフを取られたり、夜9時頃ライフの付近で後ろから抱きつかれたなど、変質者に関する報告がありました。変質者に関しては、事件が起こったらすぐに警察に通報してください。その場で犯人を捕まえることは無理でも、すぐに通報することで警察は迅速に動くことがで

き、捜査の手がかりを見つけて犯人逮捕に結びつく可能性は大きくなってきます。

少年補導員の方からは、青少年を取り巻く覚せい剤の恐ろしい実態が報告されました。幸いなことに高津区、宮前区では補導された未成年はいないようです。覚せい剤はほんの少量で死に至るそうです。ご家庭でもその恐ろしさを認識することが大切ではないでしょうか。また少年犯罪を未然に防ぐためにも、日頃から家庭でお子さんと話し合える家庭環境をぜひ作っていきましょう。



まずは会釈から始めましょう

交通事故や不審者の問題、少年犯罪などに対し私たちができることは、地域住民が互いに知り合い信頼関係を築いて、よその子も自分の子と同じように見守ることではないでしょうか。

その一歩として「あいさつ」を交わすことをお勧めします。ですがいきなり知らない人にあいさつをするのが難しいと思われる方もいるはず。まずは目線を合わせて会釈だけしてみてもいいでしょうか。買い物に行く時、会社に行く時、散歩の時、今までになげなくすれ違っていた人も、会釈をするうちに「自分の住んでいる地域にはこんな人がいたんだ」と気付くはずですよ。そのうちに「おはようございます」「おかえりなさい」と自然に声が出てくると思います。気付いた人があいさつをすることで、一人また一人とあいさつ

する人が増えていきますので、ぜひ子ども達にも声をかけてあげてください。また、それが事故や犯罪の予防にもなり、子ども達にもあいさつをする習慣が身についていくことでしょう。

今日からみなさんも実践してみませんか？

●地域教育委員会からお知らせ●

1月25日(土)19時から宮崎中特別活動室で、「子ども会議・大人の部」を開催します。

大人の部は12月7日に行われた「子どもの部」で子ども達が話し合った「将来の夢」を受けて、大人はどうしたらいいのかを話し合っていきたいと思っています。

お時間のある方はぜひご参加ください。

宮崎中学校を地域のコミュニティーセンターに

10月24日、宮崎中学校の松田滋充校長先生を訪問し、地域についてのお考えや、地域教育会議に対する要望など、たくさんお話を伺いました。

今後も宮崎中学校区各小学校の校長先生方のお話を掲載していきたいと思っています。

学校は閉鎖的だという地域の方や保護者の方からのご意見がありますが、「地域と緊密に協力しあい、連携しなければ教育は成り立たない」というのが私の基本的な考え方です。

中学生を地域の活動の中で、ある役割を持たせて活動させることが大事だと思います。例えば町内会の運動会などで、競技に参加させるだけではなく、企画や運営に参加させ、地域の一員としての責任ある立場を担ってもらうことが、地域で育つということではないでしょうか。中学生を子ども扱いしないということが大切ではないかと思います。

よくコンビニの前などでたむろしている子ども達のことが話題になりますが、地域の会館などを夜開放して、そこで地域の大人たちと話し合ったりしてコミュニケーションをとるという方法もありますね。その年代だけにかたまらず、地域の大人たちと話し合うことは大事ですね。

学校の行事や授業に支障のない状態であれば、どんどん学校の施設を利用してください



い。現に特別活動室はいろんな方に利用していただけてますし、和室や図書室や調理室なども、ご連絡いただければ利用できます。子ども達とふれあうことも必要ですね。

今後は学校を“地域の学校”という位置付けに変えていかなければならないと思います。宮崎中学校が地域のコミュニティーセンターになれば、と思っています。

地域教育会議には、子育てネットワークをいかに機能させればいいのか話し合っ活動して欲しいですね。この地域でみんなで子どもを育てていくために、学校も積極的に協力していきたいと思っています。

(松田校長先生談 文責・広報委員会)

優秀作品決定

たくさんの応募、ありがとうございました！

昨年に引き続き、今年も「大人が変われば子どもも変わる」運動のポスターと標語を募集しました。応募数はポスター40点、標語38点、作文1点でした。応募いただいた作品の中から次の方が優秀賞に選ばれました。

優秀作品は11月11日から22日まで、宮前区役所の2階ロビーに展示されました。また12月13日から24日まで川崎駅アゼリアに標語の優秀作品が展示されます。

【ポスターの部】

橋谷田怜央（宮崎中1年）、岡安麻未（宮崎中1年）、村澤晴海（宮崎中2年）、柿本美貴（宮崎中2年）、日比野祐介（宮崎中3年）、和田彩香（西梶小5年）、多々良彩夏（西梶小5年）、関口宏美（西梶小6年）、佐藤理菜（宮崎小6年）、新妻あかね（宮崎小6年）、日比野智子（大人の部）

【標語の部】

加藤千尋（宮崎小5年）、塩井一慶（宮崎小5年）、角詠之（宮崎小5年）、佐藤夏惟（宮崎小5年）、森下由佳里（宮崎小5年）



青少年の心を育てるキャンペーン

今年も秋のイベントに参加しました！

地域教育会議を地域の皆さんに知っていた
だき、身近に感じてもら
えるように、今年度も宮
崎中学校区の小中学校

(宮崎小、梶小、西梶小、宮崎中)で行われた
バザーやフリーマーケット、大塚町内会の運
動会に、フルーツポンチやお団子の模擬店を
出店しました。それぞれのイベントはお天気
にも恵まれ、地域の方たちとふれあうことが
できました。

宮崎小の「ふれあいまつり」では、「大人が
変われば子どもも変わる」運動の説明ポス
ターを展示したところ、子守りをしているお

父さん方が立ち止まって熱心に読んでい
る姿がとても印象的でした。

まだまだ認知度の低い地域教育会議で
すが、今後も子どもたちにとって暮らしやすい
地域づくりを目指して、ますますパワフルに
活動していきたいと思っています。



及川さんのちょっとひと言！

学校と家庭とが一体になって

去る11月7日、宮崎中学校を会場として、
理科教育の関東ブロック研究発表会があり
ました。多数の参観者で、公開授業も研究
発表もすばらしいものがありました。

全体会場で松田校長先生の挨拶の中で、
宮崎中学校々地の歴史について話があり、
これを聞いていた地方の先生方が語って
いました。「工業都市川崎には珍しく自然環境
にめぐまれ、諸施設の良く整ったすばらし
い新校舎と校庭に恵まれ、保護者・生徒とも
に幸せそのものだ。このめぐまれた環境の
中で、地域をあげて教育活動ができるよう
願ってます」と。

地域住民の皆さん、このめぐまれた教育
環境のよさをご理解され、学校と家庭が一
体となってさらに発展するように、住民一
人ひとりが協力しましょう。

住民委員の及川利男さんは元中学校
の校長先生。広報委員会の一員とし
てこれまで「萌」の編集後記
を担当していました。

INFORMATION

●卒業式日程●

- 3月11日(火) 宮崎中学校
- 3月18日(月) 宮崎小学校
- 3月20日(木) 梶ヶ谷・西梶ヶ谷小学校

●入学式日程●

- 4月7日(月) 宮崎中学校
宮崎小学校
梶ヶ谷小学校
西梶ヶ谷小学校

●青少年の家からお知らせ●

- 3月9日(日) 青少年の家フェスティバル

編集後記

「萌」6号はいかがでしたか？ 少しでも
皆さんに読んでいただける広報紙にしよう
と、広報委員会が一丸となって企画を考えま
した。今回は地域教育会議の活動報告
だけでなく、松田校長先生のインタ
ビューや新企画なども盛り込みました。
ご意見、ご感想をお待ちしています。



「萌」に対するご意見・ご感想はこちらへ！

ファクス: 044-855-1481 eメール: nmiya@vy.catv.ne.jp